

平成29年度 地域連携部 年間マネジメント

岩美町立岩美中学校

学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成				
重点努力事項	1 アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善の取り組みを継続し、学力向上を図る 2 学校不適応生徒数の減少に向けて未然防止に力を入れ、個に応じた支援・指導力の向上を図る				
分掌重点目標	・将来への夢や目標を持ち、進路実現に向けて学習に取り組む生徒の育成 ・困難なことから逃げず、友達とその課題について乗り越えようとする生徒の育成 ・地域とのつながりを大切にし、地元に貢献しようと動くことができる生徒の育成				
柱となる活動	活動へ向けての努力事項 Do	到達目標	評価基準 Check	成果と課題 Do & Check	来年度への提言 Action
みずから学ぶ活動	◎自学ノートを活用して、自分の課題を克服する生徒の育成 ・各クラスの自学ノートのモデルを掲示する。 ・未提出日が続いた生徒は、早い段階で指導し、累積が増えないように学年で対応。 ◎各学年のキャリア学習をととして、将来への目標を持ち、進路実現にむけて学習に取り組む生徒の育成 ・1年 ふるさと先生とともに ・職業調べ ・2年 ワクワクチャレンジ in IWAMI(職場体験学習) ・先輩に学ぶ・修学旅行に向けて ・3年 修学旅行 ・休日補充学習 ・自己肯定感を高めるためのアクティビティを実施する。	・自学ノートを毎日提出することができる。 ・将来への具体的な夢や目標を持つことができる。	・自学ノートの提出率85% ・将来への夢や目標があるについて肯定的評価70%		
みずから鍛える活動	◎メディアとの付き合い方を考え、視聴時間等のコントロールを自らできる生徒の育成 ・生徒、保護者へのメディアとの付き合い方の啓発 ・生活日誌へ記録し、自己評価 ・学活等でメディアとの付き合い方の内容を扱う ◎チャレンジデーで挑戦する目標を定め、それに向けて努力する生徒の育成 ・チャレンジデー記録用紙を毎回提出 ◎生活全般のルール・マナー・モラルの向上 ・生活ルールを扱った本を学年ごとに使用して、学活等で実施	・平日はメディアと接する時間を2時間以内とする。 ・目標を持って自主的に実施する。 ・日常生活で交通ルールを守ったり、ごみを出さないなど、自分たちでルールを意識する生活ができる。	・平日のメディアと接する時間2時間以内が60% ・実施率8割 ・生徒質問紙のルール・マナー・モラルについて肯定的評価90%以上		
みんなと生きる活動	◎地域行事に積極的に参加し、地域から期待される生徒の育成 ・町区長の生徒を中心として、参加、役割分担等を自主的に行う町区別生徒会の運営 ・夏休みボランティア体験教室への積極的参加(特に3年生) ◎校内でのボランティア活動に友達と誘い合って参加する生徒の育成 ・JRC委員会のボランティア活動 ◎異校種との交流をととして、関わることの大切さを学ぼうとする生徒の育成 ・赤ちゃんふれあい体験、小6・中2交流会、体験入学など ◎誰にでも気持ちの良いあいさつができる生徒の育成 ・若鷺あいさつ見守り隊 ・若鷺見守りDAY	・地域行事等の積極的な参加 ・校内ボランティア活動に年間に一度は関わる ・体験を通して自分の考え方に変化が起きる ・登下校中、校内でのあいさつの活性化	・参加についての肯定的評価75%以上 ・参加についての肯定的評価が85% ・感想による肯定的記述8割 ・参加者から地域での生徒のようすの聞き取り(肯定的な評価)		